

# 平成25年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財)日本植物調節剤研究協会

平成25年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成26年6月19日(木)にホテルサンルート白河において開催された。

この検討会には、試験場関係者19名、委託関係者31名ほか、計55名の参集を得て、除草剤14薬剤(81点)、

生育調節剤1薬剤(3点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成25年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注)アンダーラインは新たに判定された部分を示す

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種・種 新・新 の別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. BAH-1306 乳 新規化合物A:64%  〔BASFジャパン〕	コウライシバ	作用性 新規	横調研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2mL <200-300mL> 0.3mL <200-300mL> 0.4mL <200-300mL> 0.5mL <200-300mL> 対) ケーブ P/L 芝生育期、雑草発生前 0.5mL <200-300mL> 対) シバツ乳 芝生育期、雑草発生前 0.3mL <200-300mL>	処理後90日程度で 中間調査をおこな う。最終調査は、処 理後120-150日程度 でおこなう。	-	(作用性)
	コウライシバ	作用性 新規	横調研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期、雑草発初期 0.2mL <200-300mL> 0.3mL <200-300mL> 0.4mL <200-300mL> 0.5mL <200-300mL> 対) ケーブ顆粒水和 芝生育期、雑草発初期 0.3g <200-300mL> 対) ケーブ顆粒水和 芝生育期、雑草発初期 0.5mL <200-300mL>	処理後90日程度で 中間調査をおこな う。最終調査は、処 理後120-150日程度 でおこなう。		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・旧 の別	試験担当場所 <>は試験中など (仮)	ねらい・試験設計 等	備考	判定	判定内容						
2. BEH-447 フロアブル エチルシクロピコナタール 2.2%	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 J福岡	(4) ねらい 対象 雑草 一年生仔根 --- 一年生広葉 --- 多年生仔根 スズノヒゲ類 多年生広葉 --- その他 --- 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生期・雑草生初期 0.2mL <200mL><100mL> 0.25mL <200mL><100mL> 0.3mL <100mL> ※) モニタリング粒水和 芝生期・雑草生初期 0.0015g <100~200mL>	処理時の草丈、株の 直径の記載をお願い します。 概ね9月上旬から中 旬に処理をお願い します。 展着剤の加用をお 願ひいたします。 処理後30日および 60日での調査をお 願ひいたします。	実・継 従 来 と お り	[秋冬作:(コウライシバ)一年生雑草、 多年生広葉雑草] ・芝生期、 雑草生初期 ・0.15~0.25mL<150~200mL>/ ㎡ ・茎葉処理  [秋冬作:(シバ)一年生雑草] ・芝生期、 雑草生初期 ・0.15~0.25mL<150~200mL>/ ㎡ ・茎葉処理						
								コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研	(4) ねらい 対象 雑草 一年生仔根 --- 一年生広葉 --- 多年生仔根 雑草 多年生広葉 --- その他 --- 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生期・雑草生初期 0.2mL <200mL><100mL> 0.25mL <200mL><100mL> 0.3mL <100mL> ※) モニタリング粒水和 芝生期・雑草生初期 0.0015g <100~200mL>	処理時の草丈の記 載をお願いし ます。 概ね9月上旬から中 旬に処理をお願い します。 展着剤の加用をお 願ひいたします。 処理後30日および 60日での調査をお 願ひいたします。	[秋冬作:(バーミューダグラス)一年生 雑草、多年生広葉雑草] ・芝生期、 雑草生初期 ・0.15~0.25mL<100~200mL>/ ㎡ ・茎葉処理
シバ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 西日本G研	(4) ねらい 対象 雑草 一年生仔根 --- 一年生広葉 --- 多年生仔根 雑草 多年生広葉 --- その他 --- 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生期・雑草生初期 0.2mL <200mL><100mL> 0.25mL <200mL><100mL> 0.3mL <100mL> ※) モニタリング粒水和 芝生期・雑草生初期 0.0015g <100~200mL>	処理時の草丈の記 載をお願いし ます。 概ね9月上旬から中 旬に処理をお願い します。 展着剤の加用をお 願ひいたします。 処理後30日および 60日での調査をお 願ひいたします。	実・継 従 来 と お り	[秋冬作:(コウライシバ)一年生雑 草、多年生広葉雑草] ・芝生期、雑草生初期 ・100~200ml <希釈せずそのまま散布>/㎡ ・茎葉処理  継 ・倍量薬害試験での確認 (コウライシバ) ・連用試験での確認(コウライシバ) ・緑化ホへの影響の確認							
							コウライシ バ	適用性 継統	東日本G研 新中国G研 静岡G場協会 新中国G研	(4) ねらい 対象 雑草 一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 --- 多年生広葉 全般 その他 --- 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生期、雑草生初期(草丈10cm以下) 100mL <希釈せずそのまま散布> 150mL <希釈せずそのまま散布> 200mL <希釈せずそのまま散布> ※) 7~9%液剤 0.4mL <200~300mL>	調査は処理後45~ 60日までお願いい たします	実・継 従 来 と お り	[秋冬作:(コウライシバ)一年生雑 草、多年生広葉雑草] ・芝生期、雑草生初期 ・10~20g/㎡ ・土壌処理  継 ・倍量薬害試験での確認 (コウライシバ) ・連用試験での確認(コウライシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ) ・緑化ホへの影響の確認
コウライシ バ	適用性 継統	東日本G研 新中国G研 静岡G場協会 新中国G研	(4) ねらい 対象 雑草 一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 --- 多年生広葉 全般 その他 --- 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生期、雑草発生初期 10g 15g 20g ※) ベンホー4粒剤 7.5g	調査は処理後100~ 120日までお願いい たします	実・継 従 来 と お り	[秋冬作:(コウライシバ)一年生雑 草、多年生広葉雑草] ・芝生期、雑草発生初期 ・10~20g/㎡ ・土壌処理  継 ・倍量薬害試験での確認 (コウライシバ) ・連用試験での確認(コウライシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ) ・緑化ホへの影響の確認							
							コウライシ バ	適用性 継統	東日本G研 新中国G研 静岡G場協会 新中国G研	(4) ねらい 対象 雑草 一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 --- 多年生広葉 全般 その他 --- 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生期、雑草発生初期 10g 15g 20g ※) ベンホー4粒剤 7.5g	調査は処理後100~ 120日までお願いい たします	実・継 従 来 と お り	[秋冬作:(コウライシバ)一年生雑 草、多年生広葉雑草] ・芝生期、雑草発生初期 ・10~20g/㎡ ・土壌処理  継 ・倍量薬害試験での確認 (コウライシバ) ・連用試験での確認(コウライシバ) ・実証試験での確認(コウライシバ) ・緑化ホへの影響の確認

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 新・種 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい	試験設計 等	備 考	判定	判定内容
5. KUH-114顆粒水和 フェノキシ酢酸:75.0%  【理研ケイケン】	コウライソ バ	適用性 継続	福島石川CC 植調研 I埼玉 I門司GC	ねらい	雑草発生前	本剤は雑草発後 は効果が劣るため、 雑草発生前に処理 を行う。調査は処理 後100日前後に中間 調査の実施をお願い 致します。	実・継	実) [秋冬作: (コウライソバ、ソバ、バ ーミュダグラス)一年生イネ雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.15~0.3g<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・倍量試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バ ーミュダグラ ス) ・連用試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バ ーミュダグラ ス) ・実証試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バ ーミュダグラ ス) ・緑化木への影響の確認
	対象 雑草	(4)	一年生イネ 全般 一年生広葉 - 多年生イネ - 多年生広葉 - その他					
	設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200mL> 0.15g <300mL> 0.3g <200mL> 対) 一任						
6. LNS-001顆粒水和 フェノキシ酢酸:50%  【エス・ティ・イー・エス・パティファ リ】	ソバ	適用性 継続	福島石川CC 植調研 I埼玉 I門司GC	ねらい	雑草発生前	本剤は雑草発後 は効果が劣るため、 雑草発生前に処理 を行う。調査は処理 後100日前後に中間 調査の実施をお願い 致します。	実・継	実) [秋冬作: (コウライソバ、ソバ)一 年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生前~発生初期 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉並土壌処理  [秋冬作: (バントグラス)一年生広葉 雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.03~0.06g<200~300mL>/㎡ ・茎葉処理  継) ・雑草発生前処理での効果薬害 について年次変動の確認(コウ ライソバ、ソバ) ・効果、薬害の確認(バ ーミュダグラ ス) ・多年生広葉雑草に対する効果 の確認(コウライソバ、ソバ) ・連用試験の継続 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・実証試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・緑化木への影響の確認
	対象 雑草	(3)	一年生イネ - 一年生広葉 全般 多年生イネ - 多年生広葉 - その他					
	設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.03g <100mL> 0.03g <200mL> 0.06g <100mL> 対) ケアアップ DG 芝生育期 雑草発生前 0.045g <200mL>						
6. LNS-001顆粒水和 フェノキシ酢酸:50%  【エス・ティ・イー・エス・パティファ リ】	バ ーミュ ダグラ ス	適用性 継続	埼玉スタジアム2002 静岡G場協会 西日本G研 かごしま空港CC	ねらい	雑草発生前	本剤は雑草発後 は効果が劣るため、 雑草発生前に処理 を行う。調査は処理 後100日前後に中間 調査の実施をお願い 致します。	実・継	実) [秋冬作: (コウライソバ、ソバ)一 年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生前~発生初期 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉並土壌処理  [秋冬作: (バントグラス)一年生広葉 雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.03~0.06g<200~300mL>/㎡ ・茎葉処理  継) ・雑草発生前処理での効果薬害 について年次変動の確認(コウ ライソバ、ソバ) ・効果、薬害の確認(バ ーミュダグラ ス) ・多年生広葉雑草に対する効果 の確認(コウライソバ、ソバ) ・連用試験の継続 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・実証試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・緑化木への影響の確認
	対象 雑草	(4)	一年生イネ 全般 一年生広葉 - 多年生イネ - 多年生広葉 - その他					
	設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.15g <200mL> 0.15g <300mL> 0.3g <200mL> 対) 一任						
6. LNS-001顆粒水和 フェノキシ酢酸:50%  【エス・ティ・イー・エス・パティファ リ】	コウライソ バ	適用性 継続	東日本G研 I埼玉 I福岡	ねらい	雑草発生前(処理時期拡大)	処理後経過を見な がら約120日後と約 150日後で調査願 います。 調査時に多年生広 葉雑草の発生が見 られた際は、併せて 調査願います。	実・継	実) [秋冬作: (コウライソバ、ソバ)一 年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生前~発生初期 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉並土壌処理  [秋冬作: (バントグラス)一年生広葉 雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.03~0.06g<200~300mL>/㎡ ・茎葉処理  継) ・雑草発生前処理での効果薬害 について年次変動の確認(コウ ライソバ、ソバ) ・効果、薬害の確認(バ ーミュダグラ ス) ・多年生広葉雑草に対する効果 の確認(コウライソバ、ソバ) ・連用試験の継続 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・実証試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・緑化木への影響の確認
	対象 雑草	(3)	一年生イネ - 一年生広葉 全般 多年生イネ - 多年生広葉 - その他					
	設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.03g <100mL> 0.03g <200mL> 0.06g <100mL> 対) ケアアップ DG 芝生育期 雑草発生前 0.045g <200mL>						
6. LNS-001顆粒水和 フェノキシ酢酸:50%  【エス・ティ・イー・エス・パティファ リ】	ソバ	適用性 継続	東日本G研 I埼玉 I福岡	ねらい	雑草発生前(処理時期拡大)	処理後経過を見な がら約120日後と約 150日後で調査願 います。 調査時に多年生広 葉雑草の発生が見 られた際は、併せて 調査願います。	実・継	実) [秋冬作: (コウライソバ、ソバ)一 年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生前~発生初期 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉並土壌処理  [秋冬作: (バントグラス)一年生広葉 雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期 雑草発生初期 ・0.03~0.06g<200~300mL>/㎡ ・茎葉処理  継) ・雑草発生前処理での効果薬害 について年次変動の確認(コウ ライソバ、ソバ) ・効果、薬害の確認(バ ーミュダグラ ス) ・多年生広葉雑草に対する効果 の確認(コウライソバ、ソバ) ・連用試験の継続 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・実証試験での確認 (コウライソバ、ソバ、バントグラス) ・緑化木への影響の確認
	対象 雑草	(3)	一年生イネ - 一年生広葉 全般 多年生イネ - 多年生広葉 - その他					
	設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.03g <100mL> 0.03g <200mL> 0.06g <100mL> 対) ケアアップ DG 芝生育期 雑草発生前 0.045g <200mL>						

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類・種 別	試験担当場所 ＜試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備考	判定	判定内容
7. MBF-131 コラリン シハ:40%  【丸和バ(株)】	ベントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 藻類 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 基葉処理 芝生育期・藻類生育期 2ml×2 <200ml> 3ml <200ml> 4ml <200ml> 対) モトクサ 芝生育期・藻類生育期 3g <200ml>	処理後2週間程度で の調査を行う。	継	継) ・効果被害の確認(ベントグ ラス)
8. RGH-1302SC フォリン バ 既知化合物:42.5% (w/v)  【理研ケリン】	コラリン バ	作用性 新規	植調研	ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生初期 0.1ml <200-300ml> 0.15ml <200-300ml> 0.2ml <200-300ml> 対) 一任	・処理100日程度の 除草効果について 確認をお願いします。	継	継) ・効果被害の確認(コラリンバ、 シハ)
	シハ	作用性 新規	植調研	ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生初期 0.1ml <200-300ml> 0.15ml <200-300ml> 0.2ml <200-300ml> 対) 一任	・処理100日程度の 除草効果について 確認をお願いします。		
	コラリン バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 自社試験	ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生初期 0.1ml <200ml> 0.1ml <300ml> 0.2ml <200ml> 対) 一任	・処理100日程度の 除草効果について 確認をお願いします。		
	シハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 自社試験	ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生初期 0.1ml <200ml> 0.1ml <300ml> 0.2ml <200ml> 対) 一任	・処理100日程度の 除草効果について 確認をお願いします。		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・雑 別の 別	試験担当場所 <>は試験中など (抜)	ねらい・試験設計等		備考	判定	判定内容																		
9. SB-201 乳 剤 [エス・ティ・エス・パ・イ・テック] メトキサレン:25%	ヘントグラス	実証試験 継続	東日本G研 関西G研 新中G研 福岡 (4)	ねらい	<table border="1"> <tr> <td>実証試験</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>一年生作物 スズメノカタビラ</td> </tr> <tr> <td>雑草</td> <td>一年生広葉 -</td> </tr> <tr> <td></td> <td>多年生作物 -</td> </tr> <tr> <td></td> <td>多年生広葉 -</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他 -</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>茎葉兼土壌処理</td> </tr> <tr> <td>薬量</td> <td>芝生育期 雑草発生初期</td> </tr> <tr> <td>&lt;水量&gt;</td> <td>0.2→0.2mL &lt;200-300mL&gt;</td> </tr> </table>	実証試験		対象	一年生作物 スズメノカタビラ	雑草	一年生広葉 -		多年生作物 -		多年生広葉 -		その他 -	設計	茎葉兼土壌処理	薬量	芝生育期 雑草発生初期	<水量>	0.2→0.2mL <200-300mL>	11月頃に一回目の 処理を行い、30日程 度間隔を空けて二 回目の処理を行っ てください。二回目 処理直前での調査 及び二回目処理か ら90日前後での調 査をお願いします。	実・継 従 来 ど お り	<p>[実]</p> <p>[秋冬作:(コウライシバ、ケンタッキーブルーグラス)スズメノカタビラ]</p> <p>単用処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生育期 雑草発生前</li> <li>・0.3~0.4mL&lt;200-300mL&gt;/㎡</li> <li>・土壌処理</li> </ul> <p>反復処理(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生育期 雑草発生前</li> <li>・0.2mL&lt;200-300mL&gt;/㎡</li> <li>(散布間隔は1ヶ月を目安とする)</li> <li>・土壌処理</li> </ul> <p>[秋冬作:(ヘントグラス)スズメノカタビラ]</p> <p>単用処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生育期</li> <li>雑草発生前~発生初期</li> <li>・0.3~0.4mL&lt;200-300mL&gt;/㎡</li> <li>・土壌処理</li> </ul> <p>反復処理(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生育期</li> <li>雑草発生前~発生初期</li> <li>・0.2mL&lt;200-300mL&gt;/㎡</li> <li>(散布間隔は1ヶ月を目安とする)</li> <li>・土壌処理</li> </ul> <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘントグラスに対して葉が黒ずむ場合がある</li> </ul> <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生初期処理での効果、葉害の確認(コウライシバ、ケンタッキーブルーグラス)</li> <li>・連用試験での確認(コウライシバ、ヘントグラス、ケンタッキーブルーグラス)</li> <li>・実証試験での確認(コウライシバ、ヘントグラス、ケンタッキーブルーグラス)</li> <li>・緑化木への影響の確認</li> </ul>
実証試験																										
対象	一年生作物 スズメノカタビラ																									
雑草	一年生広葉 -																									
	多年生作物 -																									
	多年生広葉 -																									
	その他 -																									
設計	茎葉兼土壌処理																									
薬量	芝生育期 雑草発生初期																									
<水量>	0.2→0.2mL <200-300mL>																									

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
10. SB-217顆粒水和 トリブゾラム:30% アミカルバゾラム:10%  [エス・デー(…エス・バ・イテック)]	コウライソ バ	適用性 継続	アライシ(那須GC (1))	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 <水量> /㎡ 茶葉兼土壌処理芝生育期 雑草発生初期 0.1g <200mL> 0.1g <300mL> 0.2g <200mL> 対) アライシ 芝生育期 雑草発生初期 0.3g <200mL>	処理90日前後で調 査を行う。	実・継 従 来 ど お り	[実] [秋冬作:(コウライソ、ソバ)] 一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前～発生初期 ・0.1～0.2g<200～300mL>/㎡ ・茶葉兼土壌処理  [注] ・一時的に葉身に黄化、退色など の被害を生じる場合がある  [継] ・連用試験での確認 (コウライソ、ソバ) ・ <del>実証試験での確認</del> (コウライソ、ソバ) ・緑化木への影響の確認
	ソバ	適用性 継続	アライシ(那須GC (1))	ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 <水量> /㎡ 茶葉兼土壌処理芝生育期 雑草発生初期 0.1g <200mL> 0.1g <300mL> 0.2g <200mL> 対) ソバ 芝生育期 雑草発生初期 0.3g <200mL>	処理90日前後で調 査を行う。		
	コウライソ バ	実証試験 継続	静岡G場協会 J福岡	ねらい 実証試験 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 <水量> /㎡ 茶葉兼土壌処理芝生育期 雑草発生初期 0.15g <200-300mL>	処理90～120日前後 で調査してくださ い。		
	ソバ	実証試験 継続	静岡G場協会 J福岡	ねらい 実証試験 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 <水量> /㎡ 茶葉兼土壌処理芝生育期 雑草発生初期 0.15g <200-300mL>	処理90～120日前後 で調査してくださ い。		
	コウライソ バ	実証試験 継続	静岡G場協会 J福岡	ねらい 実証試験 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 <水量> /㎡ 土壌処理芝生育期 雑草発生初期 15g	処理90～120日前後 で調査してくださ い。		
	ソバ	実証試験 継続	静岡G場協会 J福岡	ねらい 実証試験 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 <水量> /㎡ 土壌処理芝生育期 雑草発生初期 15g	処理90～120日前後 で調査してくださ い。		
11. SB-2092 粒 トリブゾラム:0.3% アミカルバゾラム:0.2%  [エス・デー(…エス・バ・イテック)]	コウライソ バ	実証試験 継続	静岡G場協会 J福岡	ねらい 実証試験 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 <水量> /㎡ 土壌処理芝生育期 雑草発生初期 15g	処理90～120日前後 で調査してくださ い。	実・継 従 来 ど お り	[実] [秋冬作:(コウライソ、ソバ)] 一年生雑草] ・芝生育期 雑草発生前～発生初期 ・10～20g/㎡ ・土壌処理  [継] ・連用試験での確認 (コウライソ、ソバ) ・ <del>実証試験での確認</del> (コウライソ、ソバ) ・緑化木への影響の確認
	ソバ	実証試験 継続	静岡G場協会 J福岡	ねらい 実証試験 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 <水量> /㎡ 土壌処理芝生育期 雑草発生初期 15g	処理90～120日前後 で調査してくださ い。		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 (又は試験中など (数))	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
12. SG-109 顆粒水和 剤(コウライシバ) [住化ケリーン]	コウライシバ	作用性 継統	関西G研 新中国G研	ねらい (2) 対象 雑草 薬耐限界の確認 -一年生仔株 スズノカタビラ -一年生広葉 - -多年生仔株 - -多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草2~3葉期 0.08g <100mL>, 0.12g <100mL> 芝生育期 雑草5~6葉期 0.08g <100mL>, 0.12g <100mL> 芝生育期 分けつ期以降 0.08g <100mL>, 0.12g <100mL> 参) ケリーン-ゾラン液剤 秋~春期(芝発芽前) 1mL <200mL>	12月~1月に処理希望。 処理は雑草の葉齢を優先し、処理時の芝の状態を確認して下さい。	実・継 従 来 ど お り	[秋冬作:(コウライシバ、ジバ)一年生雑草、多年生広葉雑草] ・芝生育期(生育休止期)、雑草生育期(但しスズノカタビラは発生初期) ・0.08~0.12g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理
	ジバ	作用性 継統	関西G研 新中国G研	ねらい (2) 対象 雑草 薬耐限界の確認 -一年生仔株 スズノカタビラ -一年生広葉 - -多年生仔株 - -多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草2~3葉期 0.08g <100mL>, 0.12g <100mL> 芝生育期 雑草5~6葉期 0.08g <100mL>, 0.12g <100mL> 芝生育期 分けつ期以降 0.08g <100mL>, 0.12g <100mL> 参) ケリーン-ゾラン液剤 秋~春期(芝発芽前) 1mL <200mL>	12月~1月に処理希望。 処理は雑草の葉齢を優先し、処理時の芝の状態を確認して下さい。	注) ・「芝生育期(生育休止期)」とは、茎葉の一部に緑色が残っていても、生育の停滞している時期を指す	
13. SG-115 フォアフル 既知化合物A:18% 既知化合物B:12% [住化ケリーン]	コウライシバ	作用性 新規	関西G研 新中国G研	ねらい (2) 対象 雑草 効果持続期間の確認 -一年生仔株 全般 -一年生広葉 全般 -多年生仔株 - -多年生広葉 (全般) その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 一年生雑草発生前(9月上旬) 0.2mL<200mL>, 0.3mL<200mL>, 0.4mL<200mL> 芝生育期 一年生雑草発生前(9月中旬) 0.2mL<200mL>, 0.3mL<200mL>, 0.4mL<200mL> 芝生育期 一年生雑草発生前(9月下旬) 0.2mL<200mL>, 0.3mL<200mL>, 0.4mL<200mL> 対) コンクート 顆粒水和剤 雑草発生前(9月上旬・中旬・下旬) 0.2g <200mL>	試験設計の通り、9月上旬・9月中旬・9月下旬の3時期に処理希望。 処理区に多年生広葉雑草があった場合は、処理時の状態を記入。	一 (作用性)	
	ジバ	作用性 新規	関西G研 新中国G研	ねらい (2) 対象 雑草 効果持続期間の確認 -一年生仔株 全般 -一年生広葉 全般 -多年生仔株 - -多年生広葉 (全般) その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 一年生雑草発生前(9月上旬) 0.2mL<200mL>, 0.3mL<200mL>, 0.4mL<200mL> 芝生育期 一年生雑草発生前(9月中旬) 0.2mL<200mL>, 0.3mL<200mL>, 0.4mL<200mL> 芝生育期 一年生雑草発生前(9月下旬) 0.2mL<200mL>, 0.3mL<200mL>, 0.4mL<200mL> 対) コンクート 顆粒水和剤 雑草発生前(9月上旬・中旬・下旬) 0.2g <200mL>	試験設計の通り、9月上旬・9月中旬・9月下旬の3時期に処理希望。 処理区に多年生広葉雑草があった場合は、処理時の状態を記入。		
14. SVJ-192 フォアフル トリフロキシスルホンナトリウム 塩:10% [シジエンケリアン]	ジバ	適用性 継統	太平洋C美野里 かごしま空港CC	ねらい (2) 対象 雑草 雑草発生初期(年次変動)の確認 -一年生仔株 全般 -一年生広葉 全般 -多年生仔株 - -多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 雑草発生初期・芝生育期 0.02mL <200mL> 0.02mL <100mL> 0.05mL <100mL> 対) ミュメント 顆粒水和剤 雑草発生初期・芝生育期 0.0045g <150~250mL>	最終調査は処理後90日程度でお願いいたします	実・継 従 来 ど お り	[秋冬作:(コウライシバ、ジバ)一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生初期 ・0.02~0.05mL<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 ・ 新 ・ 種 の 別	試験担当場所 〈〉は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等		備 考	判定	判定内容
I. RGP-101 液 ベンゾアザラソリン2% [理研ケーン]	ベントグ ラス	適用性 新規	泉バーグのGC 東日本G研 自社試験 (3)	ねらい	スズメノカタビラ出穂抑制効果 茎葉処理 スズメノカタビラ出穂前～出穂始期 設計 葉量 0.6mL×3回<100mL> <水灌> 0.6mL×3回<200mL> /㎡ 1.2mL×3回<100mL>	・初回散布は生育期 スズメノカタビラの出穂 前に実施、20～25日 間隔で連続処理を 実施する。 ・調査はすべての区 において、1回処理 前、2・3回処理前お よび3回処理3週間 後にスズメノカタビラの 出穂数を測定する などして出穂抑制 効果を確認する。な お、根雪等で最終調 査が実施できなか った場合は翌年の 雪解け後に行う。 ・展着剤は加用しな い	継	・効果葉害の確認(ベントグラス)